

令和元年度 自己評価書

学校名	和歌山市立八幡台小学校
校長氏名	志場 俊之
作成日	令和2年 2月14日

1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成	○心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子 ○豊かな心を持ち、思いやりのある子 ○正しい判断のもと自ら進んで実践する子
-----------------------------	--

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○漢字博士試験合格90% ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○生活習慣チェック合格率95%以上	○学校行事ごとの地域回覧板活用による情報発信率100% ○ホームページ更新随時
重点目標	◎主体的に学習に取り組む子どもの育成 ◎基礎・基本の定着	◎道徳教育の充実、道徳的実践力の養成 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎人権意識の向上	◎基本的生活習慣の確立 ◎体力向上の推進	◎家庭・地域との連携充実 ◎中学校区における学校間連携の推進
取組の状況	○学びの共同体の考え方を生かした学習活動を計画し、グループでの学び合いにより、学習内容の理解を図った。 ○朝学タイムや家庭学習の時間等を活用し、基礎学力の定着を図った。 ○研究授業を行い、学びの共同体の考え方を共有し、日頃の授業でも実践した。	○道徳の教科書及び「心のとびら」等を活用し、道徳的実践力を養った。 ○いじめアンケート調査等により、自分の行動を振り返らせた。 ○仲間作りに重点を置き、学級での集会等を計画し、仲間意識を持たせた。	○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、保護者への啓発を行った。 ○学期ごとに生活習慣アンケートを実施し、指導に生かした。	○学校便りやホームページ等による情報発信を行った。 ○学校行事等へ参加しやすい環境作りを行った。 ○地域の人材を把握し、積極的に交流を呼びかけた。 ○学校運営協議会の提言を、教育活動に生かした。
取組の成果と課題（評価結果）	○校内で指導方法を共有し、一環した指導ができるようになった。研究会も開催するなど指導方法を共通認識できた。 ○漢字博士試験では、練習問題に取り組むなど意欲的な取組が見られた。 ○全国学力・学習状況調査の対策も職員で統一し、朝の帯学習等で行ったが市平均に達することができなかった。	○どの学級も大きなめ事もなく、問題が起こったときには、すぐに本人に事情を聞き、話し合いを持つなど迅速な対応ができた。落ち着いて学校生活を営むことができた。 ○いじめ等もアンケート等からわかった内容も含めその場で解決することができた。 ○教育計画通り、道徳の授業を一つ一つ丁寧に扱うことができた。	○各学期ごとに、長期休業明けに生活習慣アンケートを実施した結果、早期に落ち着きを取り戻すことができた。 ○朝ごはん実施率は95%以上となったが、残りの5%については、学校を挙げて啓発を続けているもののなかなか改善されない。 ○基本的な生活習慣が崩れている児童が多い。	○学校の行事等の地域への呼びかけには積極的に協力してくれた。ボランティア全員が傷害保険に加入し万一来った。 ○登下校時の地域の見守り活動が活発になった。 ○ホームページ等への反応が多くなり、学校からの発信も行事のたびに行うことができた。 ○保護者どうしが交流する場ハチカフェを設けることができた。
改善方法（次年度に向けて）	○基礎基本を定着させる帯学習で、取り組む問題数を少なくしてでも確実に習得させる方向で指導していく。 ○漢字博士試験への取組を年間通じて行う。 ○多くの図書に触れるよう読書環境を充実させる。 ○学習規律を徹底して指導していく。	○道徳教育をより一層充実させるとともに、相手を思いやる心が育つような学級指導に取り組む。 ○子どもの情報を共有し、変わった様子が見られた場合、素早く対応できるよう組織で動くことを徹底する。	○長期休業明けの子どもの実態を把握し、学習・生活のリズムが安定するよう適切なアドバイスをを行う。 ○早寝早起きを推奨する。 ○休憩時間を利用した季節に合う運動を提案し、体力の向上を図るとともに、運動の楽しさを伝える。	○学校と地域の垣根をなくし、どの行事でも家庭や地域の方が足を運べるような学校を目指す。 ○ホームページや回覧板等による情報発信を積極的に行う。

3 その他の課題

--